

左ニ掲グル處分ヲ爲サントスルトキハ朝鮮總督、臺灣總督、樺太廳長官又ハ南洋廳長官ニ協議スベシ但シ
第一號及第二號ニ掲グル處分ニ付テハ外地ニ在ル者ニ對シ處分ヲ爲ス場合ニ限ル

一 第三十二條ノ規定ニ依ル指定

二 第三十三條第一項ノ規定ニ依ル命令

三 第三十三條第二項ノ規定ニ依ル認可

第六十七條 朝鮮總督、臺灣總督、樺太廳長官又ハ南洋廳長官第二十一條若ハ第二十五條ノ規定ニ依ル處分

又ハ第二十六條第一項ニ於テ準用スル船員徵用令第十七條ノ二ノ規定ニ依ル處分ヲ爲サントスルトキハ遞
信大臣ニ協議スベシ

第六十八條 本令ニ規定スルモノヲ除クノ外船舶使用、船員徵用及船舶運營會ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ
以テ之ヲ定ム

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附 則

三ノ二 第五條 關係

國民勤勞報國協力令

（昭和十六年十一月二十二日勅令第九百九十五號）

改正

昭和十七年十一月一日勅令第七百三十一號（）

昭和十七年十一月一日勅令第七百八十二號（）

第一條 國家總動員法（昭和十三年勅令第三百十七號ニ於テ依ル場合ヲ含ム）第五條ノ規定ニ基ク帝國臣民ノ勤勞報國ヲ目的トスル協力ニシテ隊組織ニ依ルモノ（以下國民勤勞報國隊ニ依ル協力ト稱ス）ニ關シテハ本令ノ定ムル所ニ依ル。

第二條 國民勤勞報國隊ニ依ル協力ハ國、地方公共團體又ヘ厚生大臣若ヘ地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監以下同ジ）ノ指定スル者ノ行フ命令ヲ以テ定ムル總動員業務ニ付之ヲ爲サシムルモノトス（る）

第三條 國民勤勞報國隊ニ依ル協力ヲ爲サシムベキ者ハ帝國臣民ニシテ年齢十四年以上四十年未滿ノ男子及年齡十四年以上二十五年未滿ノ女子（妻又ハ届出ヲ爲サマルモ事實上婚姻關係ト同様ノ事情ニ在ル女子ヲ除ク）トス

前項該當者以外ノ者ヘ志願ニ依リ國民勤勞報國隊ニ依ル協力ヲ爲サシムルコトヲ得

第六條ノ規定ニ依リ學校長ニ對シ必要ナル措置ヲ命ズル場合ノ學校在學者ノ國民勤勞報國隊ニ依ル協力ニ關シテハ前二項ノ規定ニ拘ラズ命令ヲ以テ別段ノ規定ヲ爲スコトヲ得

第四條 國民勤勞報國隊ニ依ル協力ヲ爲サシムル期間ハ命令ノ定ムル所ニ依リ一年ニ付三十日以内トス

前項ノ期間ハ特別ノ必要アル場合又ハ本人ノ同意アル場合ニ於テハ三十日ヲ超ユルコトヲ得
第五條 國民勤勞報國隊ニ依ル協力ヲ受ケントスル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ厚生大臣又ヘ地
方長官ニ之ヲ請求又ヘ申請スベシ

第六條 厚生大臣又ヘ地方長官前條ノ規定ニ依ル請求又ヘ申請アリタル場合ニ於テ國民勤勞報
國隊ニ依ル協力ヲ爲サシムル必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ市町村長（市町
村長ニ準ズベキモノヲ含ム以下同ジ）其ノ他ノ團體ノ長又ヘ學校長ニ對シ協力ヲ受クベキ者、
作業ノ種類、協力ヲ爲スベキ場所及期間並ニ所要人員數其ノ他必要ナル事項ヲ指定シテ國民
勤勞報國隊ニ依ル協力ニ關シ必要ナル措置ヲ命ズルモノトス

第七條 前條ノ措置ヲ命ゼラレタル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ國民勤勞報國隊ニ依ル協力ヲ爲
スベキ者ヲ選定シ其ノ選定アリタル旨ヲ本人ニ通知シ協力ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スベシ
前項ノ選定ヲ爲スニ當リテハ本人ノ年齢、職業、身體ノ狀況、家庭ノ狀況、希望等ヲ斟酌ス
ベシ

第八條 前條第一項ノ通知ヲ受ケタル者ハ同項ノ規定ニ依ル指示ニ從ヒ國民勤勞報國隊ニ依ル
協力ヲ爲スベシ

第九條 國民勤勞報國隊ニ依ル協力ニ要スル經費ハ命令ノ定ムル所ニ依リ特別ノ事情アル場合
ヲ除クノ外其ノ協力ヲ受クル者之ヲ負擔スルモノトス

第十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ國民勤勞報國隊ニ依ル協力ヲ爲サシメザルモノトス

一 陸海軍軍人ニシテ現役中ノモノ（未ダ入營セザル者ヲ除ク）及召集中ノモノ（召集中ノ身
分取扱ヲ受クル者ヲ含ム）

二 陸海軍學生生徒（海軍豫備練習生及海軍豫備補習生ヲ含ム）

三 朝鮮總督府陸軍兵志願者訓練所生徒

四 陸海軍軍屬

五 現ニ徵用中ノ者

六 陸軍大臣若ヘ海軍大臣ノ所管ニ屬スル官衙（部隊及學校ヲ含ム）又ヘ厚生大臣ノ指定スル
工場、事業場、其ノ他ノ場所ニ於テ軍事上必要ナル總動員業務ニ從事スル者

七 法令ニ依リ拘禁中ノ者

第十一條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ志願ニ依ル場合ヲ除クノ外國民勤勞報國隊ニ依ル協力ヲ爲サシメザルモノトス

- 一 現ニ厚生大臣ノ指定スル總動員業務ニ從事スル者
- 二 其ノ他厚生大臣ノ指定スル者

第十二條 厚生大臣又ヘ地方長官ハ國民勤勞報國隊ニ依ル協力ニ關シ市町村長其ノ他ノ團體ノ長若ヘ學校長又ヘ國民勤勞報國隊ニ依ル協力ヲ爲ス者若ヘ其ノ協力ヲ受クル者ヲ監督ス

第十三條 厚生大臣又ヘ地方長官ハ厚生大臣ノ定ムル所ニ依リ其ノ國民勤勞報國隊ニ依ル協力ニ關スル厚生大臣又ヘ地方長官ノ事務ノ一部ヲ國民職業指導所長ヲシテ分掌セシムルコトヲ得

第十四條 第六條ノ規定ニ依リ學校長ニ對シ必要ナル措置ヲ命ズル場合ノ學校在學者ノ國民勤勞報國隊ニ依ル協力ニ關シテハ第五條、第六條及前二條中厚生大臣トアルヘ文部大臣及厚生大臣トシ地方長官トアルハ東京府ニ在リテハ警視總監及東京府知事トス(ろ)

第十五條 本令ニ於テ學校ト稱スルハ第十條第六號ノ場合ヲ除クノ外文部大臣ノ所管ニ屬スル學校ヲ謂ヒ學校長ト稱スルヘ文部大臣ノ所管ニ屬スル學校ノ長ヲ謂フ

第十六條 前二條ノ規定ヘ朝鮮、臺灣、樺太及南洋群島ニヘ之ヲ適用セズ

本令中厚生大臣トアルヘ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、樺太ニ在リテハ樺太廳長官、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官トシ地方長官トアルヘ朝鮮ニ在リテハ道知事、臺灣ニ在リテハ州知事又ヘ廳長、樺太ニ在リテハ樺太廳長官、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官トシ市町村長トアルヘ朝鮮ニ在リテハ府尹又ヘ邑面長、臺灣ニ在リテハ市長又ヘ郡守(澎湖廳ニ在リテハ廳長)、南洋群島ニ在リテハ南洋廳支廳長トシ國民職業指導所長トアル朝鮮ニ在リテハ府尹、郡守又ヘ島司、臺灣ニ在リテハ市長又ヘ郡守(澎湖廳ニ在リテハ廳長)、樺太ニ在リテハ樺太廳國民職業指導所長、南洋群島ニ在リテハ南洋廳支廳長トス(い)テ之ヲ定ム

附 則

本令ハ昭和十六年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

附 則 (昭和十七年勅令第七百三十一號、同第七百八十一號)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

國民勤労報國協力令施行規則

(昭和十六年十二月一日
厚生、文部省令第三號)

改正 昭和十七年十一月一日厚生省令第五十二號(ハ)

- 第一條 國民勤労報國隊ニ依ル協力ハ左ニ掲タル總動員業務ニ付之ヲ爲サシムモノトス
 - 一 總動員物資ノ生產、修理又ヘ配給ニ關スル業務
 - 二 國家總動員上必要ナル運輸又ヘ通信ニ關スル業務
 - 三 國家總動員上必要ナル衛生又ヘ救護ニ關スル業務
 - 四 軍事上特ニ必要ナル土木建築ニ關スル業務
 - 五 國家總動員上必要ナル警備ニ關スル業務
 - 六 其ノ他厚生大臣ノ指定スル業務

第二條 國民勤労報國協力令(以下令ト稱ス)第三條第三項ノ規定ニ依ル學校在學者ノ國民勤労報國隊ニ依ル協力ニ關シテハ國民學校初等科修了程度ヲ以テ入學資格トスル學校ノ第三學年以上ノ生徒、國民學校高等科第一學年修了程度ヲ以テ入學資格トスル學校ノ第二學年以上ノ生徒及國民學校高等科第二學年修了程度ヲ以テ入學資格トスル學校ノ第一學年以上ノ生徒ヘ年齡十四年未滿ノ者ト雖モ國民勤労報國隊ニ依ル協力ヲ爲サシムベキモノトシ國民學校初等

科修了程度ヲ以テ入學資格トスル學校ノ第二學年以下ノ生徒、國民學校高等科第一學年修了程度ヲ以テ入學資格トスル學校ノ第一學年ノ生徒及國民學校ノ兒童ヘ年齡十四年以上ノ者ト雖モ國民勤労報國隊ニ依ル協力ヲ爲サシメザルモノトス

第三條 令第四條第一項ノ一年ヘ毎年四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ルモノトス

第四條 令第五條ノ規定ニ依ル請求又ヘ申請ヘ厚生大臣ニ之ヲ爲スベシ

大學、高等學校、專門學校、高等師範學校、女子高等師範學校、臨時教員養成所及實業學校教員養成所(以下大學高等專門學校ト稱ス)在學者ニ非ザル者ヲ以テ作業地ノ道府縣内ニ於テ編成セラル國民勤労報國隊ニ依ル協力ヲ受ケントスルニ際シ所要人員三百人未滿ナル場合又緊急ヲ要スル場合ニヘ前項ノ規定ニ拘ラズ當該作業地ヲ管轄スル地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監以下同ジ)ニ之ヲ爲スベシ前二項ノ請求又ヘ申請ヘ國民勤労報國隊ニ依ル協力ヲ受クベキ作業地内地ニ在ルトキハ當該作業地ヲ管轄スル國民職業指導所長ヲ經由シテ之ヲ爲スベシ(イ)

第五條 前條ノ請求又ヘ申請ヘ様式第一號ニ依リ之ヲ爲スベシ

第六條 厚生大臣、大學高等專門學校在學者ニ非ザル者ヲ以テ編成セラル國民勤労報國隊ニ依ル協力ノ請求又ヘ申請ヲ受ケタル場合ニ於テ協力ノ必要アリト認メタルトキヘ地方長官ニ對

シ國民勤勞報國隊ノ編成ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スモノトス

第七條 地方長官前條ノ命令ヲ受ケタル場合又ヘ第四條第二項ノ規定ニ依リ請求若ヘ申請ヲ受ケ其ノ協力ノ必要アリト認メタル場合ニハ直ニ市町村長（市町村長ニ準ズベキモノヲ含ム以下同ジ）其ノ他ノ團體ノ長又ヘ學校長ニ對シ國民勤勞報國隊編成令書ヲ交付シ國民勤勞報國隊ニ依ル協力ニ關シ必要ナル措置ヲ命ズベシ

第八條 厚生大臣大學高等專門學校在學者ヲ以テ編成セラル國民勤勞報國隊ニ依ル協力ノ請求又ヘ申請ヲ受ケタル場合ニ於テ其ノ協力ノ必要アリト認メタルトキヘ當該學校長ニ對シ國民勤勞報國隊編成令書ヲ交付シ國民勤勞報國隊ニ依ル協力ニ關シ必要ナル措置ヲ命ズルモノトス

第九條 前二條ノ國民勤勞報國隊編成令書ヘ様式第二號ニ依ルモノトス

第十條 第七條又ヘ第八條ノ規定ニ依リ國民勤勞報國隊ニ依ル協力ニ關シ必要ナル措置ヲ命ゼラレタル者（以下國民勤勞報國隊編成者ト稱ス）ヘ前條ノ國民勤勞報國隊編成令書ニ基キ直ニ國民勤勞報國隊ニ依ル協力ヲ爲スベキ者ヲ選定シ様式第三號ニ依ル國民勤勞報國隊協力令書ニ依リ之ニ通知スベシ但シ特別ノ事情アルトキヘ口頭ヲ以テ通知スルコトヲ得

國民勤勞報國隊編成者ヘ前項ノ通知ヲ受ケタル者ノ中ヨリ國民勤勞報國隊ノ指揮ヲ爲ス者

（以下國民勤勞報國隊長ト稱ス）ヲ選定シ之ニ其ノ旨通知スベシ

第十一條 前條第一項ノ通知ヲ受ケタル者ハ所定ノ日時ニ所定ノ場所ニ出頭スベシ

前項ノ者疾病其ノ他已ムヲ得ザル事故アル爲國民勤勞報國隊ニ依ル協力ヲ爲スコト能ヘザルトキヘ直ニ國民勤勞報國隊編成者ニ其ノ旨申出ヅベシ

國民勤勞報國隊編成者前項ノ申出アリタル場合ニ於テ事情已ムヲ得ザルモノト認メタルトキヘ前條第一項ノ通知ヲ取消スベシ

第十二條 國民勤勞報國隊長ヘ國民勤勞報國隊員ノ部署ヲ定メ之ヲ指揮監督スベシ
國民勤勞報國隊員ヘ國民勤勞報國隊長ノ指揮ニ從ヒ規律ヲ重ンジ國民勤勞報國ノ實ヲ擧グルコトヲ期スベシ

第十三條 國民勤勞報國隊員疾病其ノ他已ムヲ得ザル事故アル爲引續キ國民勤勞報國隊ニ依ル協力ヲ爲スコト困難トナリタルトキヘ其ノ旨國民勤勞報國隊長ニ申出ヅベシ

國民勤勞報國隊長前項ノ申出アリタルトキヘ國民勤勞報國隊編成者ニ其ノ旨報告スベシ
國民勤勞報國隊編成者前項ノ報告ヲ受ケタル場合ニ於テ事情已ムヲ得ザルモノト認メタルトキヘ其ノ者ノ當該國民勤勞報國隊ニ依ル協力ヲ免除スベシ

第十四條 令第九條ノ規定ニ依リ國民勤勞報國隊ニ依ル協力ヲ受タル者ニ於テ負擔スベキ經營

ハ左ニ掲グルモノトス

- 一 作業地ニ至ル往復旅費
- 二 手當又ハ謝金

三 宿泊料

四 食 費

五 其ノ他厚生大臣又ハ地方長官ニ於テ必要ト認メタル費用

厚生大臣又ハ地方長官ニ於テ特別ノ事情アリト認ムルトキハ國民勤勞報國隊ニ依ル協力ヲ受クル者ヲシテ前項ノ經費ノ全部又ハ一部ヲ負擔セシメザルコトヲ得

第十五條 國民勤勞報國隊員業務上負傷シ、疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ國民勤勞報國隊ニ依ル協力ヲ受クル協力ヲ受クル者ハ様式第一號ニ依ル國民勤勞報國隊協力申請（請求）書ニ記載シタル條項ニ從ヒ本人又ハ其ノ遺族若ハ本人ノ死亡當時其ノ收入ニ依リ生計ヲ維持シタル者ヲ扶助スベシ

第十六條 厚生大臣又ハ地方長官ハ國民勤勞報國隊ニ依ル協力ニ關シ市町村長其ノ他ノ團體ノ長若ハ學校長又ハ國民勤勞報國隊員若ハ國民勤勞報國隊ニ依ル協力ヲ受クル者ヨリ報告ヲ徵スルコトヲ得、

第十七條 厚生大臣又ハ地方長官ハ國民職業指導所長ヲシテ令第五條ノ規定ニ依ル請求又ハ申請ニ關スル審査、前條ノ規定ニ依ル報告ノ徵取其ノ他國民勤勞報國隊編成者又ハ國民勤勞報國隊員若ハ國民勤勞報國隊ニ依ル協力ヲ受クル者ノ監督ニ關シ其ノ事務ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第十八條 學校報國團ノ隊組織ノ編成アル學校ニ關シテハ本規則中國民勤勞報國隊編成令書トアルハ學校報國隊出動令書トシ本規則ノ適用ニ付學校報國隊ヲ以テ國民勤勞報國隊ト看做ス第十九條 第四條、第六條、第七條、第八條、第十四條、第十六條及第十七條中厚生大臣又ハ地方長官トアルハ令第六條ノ規定ニ依リ學校長ニ對シ必要ナル措置ヲ命ズル場合ノ學校在學者ノ國民勤勞報國隊ニ依ル協力ニ關シテハ文部大臣及厚生大臣又ハ地方長官（東京府ニ在リテハ東京府知事及警視總監）トス（い）

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附 則（昭和十七年厚生省令第五十二號）

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

國民勤勞報國隊協力申請(請求)書

申請者(請求)		住所(團體ナルトキハ其ノ所在地)	
氏名(團體ナルトキハ其ノ名稱及代表者ノ氏名)			
作業場所		在地	
作業名		稱	
作業種類別			
男			
女			
人			
人			
人			
人			
人			
人		計	
作業指導者ノ職氏名			
作業期間及一日ノ作業時間	自昭和年月日	午時始業	休憩時間
旅費	至昭和年月日	午時始業	時分
宿泊料	宿泊	食	
手當又ハ謝金			
費			
其ノ他			

災害、疾病、死亡
等ニ付スル扶助ノ
内容

宿舍、保健、
衛生、救護施設

其ノ他必要
ナル事項

右國民勤勞報國隊ノ協力相受度本段及申請(請求)候

昭和年月日

住 所(團體ナルトキハ其ノ所在地)

申請(請求)者 氏名(團體ナルトキハ其
ノ名稱及代表者ノ氏名)

(厚生大臣)

(厚生大臣)
知事殿
(警視總監)

(第十九條ノ規定ニ付東京府ニ在リテハ
東京府知事
(北海道廳長官))

備考

二六四

- 一 本申請(請求)書ニハ地方長官ニ申請(請求)スルトキハ副本一通、厚生大臣ニ申請(請求)スルトキハ副本二通、文部、厚生兩大臣ニ申請(請求)スルトキハ副本三通ノ作成添附スルコト
- 二 申請(請求)書ノ「住所」團體ナルトキハ其ノ所在地ヲ記載シ「氏名」(團體ナルトキハ其ノ名稱及代表者ノ氏名)」欄ニハ申請(請求)者個人ナルトキハ其ノ住所ヲ、團體ナルトキハ其ノ名稱及代表者ノ氏名ヲ記載スルコト
- 三 作業場ノ「所在地」「名稱」欄ニハ所在地及名稱ヲ詳細ニ記載シ、「事業ノ種類」欄ニハ事業ノ團體ヲ成ルベク具體的ニ記載スルコト
- 四 所要人員ノ「作業種別」「男」「女」欄ニハ從事スペキ作業ノ內容ヲ具體的ニ記載スルコト
- 五 「作業指導者ノ職氏名」欄ニハ國民勤勞報國隊ノ作業中ノ指導監督ニ當ル責任者ノ職氏名ヲ記載スルコト
- 六 「作業期間及一日ノ作業時間」欄ニハ作業ノ開始終了ノ年月日、一日ノ作業ノ始終時間、休憩時間ヲ記載スルコト
- 七 負擔經費欄ニハ經費別ニ負擔ノ有無並ニ一人當ノ金額、現物支給ノトキハ其ノ內容等詳細ニ記載スルコト
- 八 「扶助ノ内容」欄ニハ災害、疾病ノ場合ノ療養、及災害、疾病死亡ノ場合ノ扶助ノ内容ヲ記載スルコト

様式第二號

國民勤勞報國隊編成令書

國民勤勞報國隊ヲ編成スベキ者ノ職氏名

右ノ者左ノ事項ニ依リ國民勤勞報國隊ヲ編成シ之ニ依ル協力ニ關シ必要ナル措置ヲ爲スベシ

協調者(求)	協調力申	申請者(求)	住所(團體ナルトキハ其ノ名稱及代表者ノ氏名)	隊長ニ關する事項	隊長ノ名稱	協力セシム員數	銓衡ノ範圍及標準
隊員ノ出頭すべき日時及場所							

作業指導者 氏名	作業場 名稱	作業場 所在地	協力期間 自昭和年月日	至昭和年月日	支給經費	作業内容
災害、疾病、死 亡等ニ關スル扶助 ノ内 容	宿舎、保健、衛 生、救護施設	其ノ他参考トナ ルベキ事項				

昭和年月日

(文部大臣)

印

府縣知事 氏名印
(警視總監) 氏名印
(第十九條ノ規定ノ適用ニ付
東京府ニ在リテハ 警視總監 氏名印
東京府知事 氏名印
(北海道廳長官) 氏名印

備考

- 一 「隊長ニ關スル事項」欄ニハ隊長ノ選定ニ關シ必要ナル事項ヲ記載スルコト
- 二 「銓衡ノ範圍及標準」欄ニハ作業ノ内容ニ應ジ協力セシムベキ者ノ年齢範圍、特殊技能ノ要否等其ノ他協力セシムベキ者ノ適格條件ヲ具體的ニ示シタル銓衡ノ標準ヲ記載スルコト
- 三 「出頭スペキ日時及場所」欄ニハ隊ノ出頭スペキ日時及場所ヲ明瞭ニ記載スルコト
- 四 作業内容等其ノ他ニ付軍ノ機密又ハ極秘ニ屬スルモノアルベキヲ以テ必要ニ應ジ記載事項ヲ省略スルコト
- 五 「協力期間」欄ニハ作業ニ從事スペキ日數並ニ出發、歸還ノ往復日數ヲ加ヘタル期間ヲ記載スルコト
- 六 「其ノ他参考トナルベキ事項」欄ニハ作業ニ適當ナル服裝、携帶品等協力スペキ者ニ對スル注意事項、其ノ他編成ニ關シ特ニ参考トナルベキ事項ヲ記載スルコト
- 七 學校報國團ノ隊組織ノ編成アル學校ニ關シテハ「國民勤勞報國隊ヲ編成」トアルハ「學校報國隊ヲ出動」トスルコト

國民勤勞報國隊協力令書

協力スペキ者ノ住所

氏名

右者左記了知ノ上本國民勤勞報國隊ニ依ル協力ヲ爲スベシ

記

一、出頭場所

國民勤勞報國隊編成者ノ職氏名

裏面參照

昭和年月日時 分令書受領

氏名

同

(表)

(裏)		協力期間 自昭和年月日 至昭和年月日	作業場名 所在地 稱	從事業 ノ内 容 スベキ	賃 給 支 給 ス ペ キ 旅 費 手 當 其 ノ 他	宿泊料 食 費	一、出頭時間ヲ嚴守スペシ 一、萬一指定ノ日時ニ出頭シ雖キ事情アル場合ハ其ノ旨直ニ編成者ニ通報シ其ノ指揮ヲ承クベシ 一、本人不在ノ爲代理者ヲ以テ令書受領ノ場合ハ令書受領證ニ本人トノ關係及氏名ヲ明記スペシ 一、代理受領者ハ速ニ令書アリタル旨本人ニ通達スペシ
注意事項	備考						
一 隊長トシテ選定シタル者ニ對シテハ本文ニ其ノ旨附記スルコト							
二 隊ノ名稱ハ編成令書記載ノ名稱ニ依ルコト							
三 作業場所在地及名稱、從事スペキ作業内容ハ明確ニ記載スルコト但シ軍機保護上ノ必要ニ依リ地方長							

- 官若ハ厚生大臣ノ指示アルトキハ之ヲ記載セザルコト
支給スペキ経費ハ編成令書記載ノ内容ニ依リ記載スルコト
「注意事項」欄ニハ服装、携帶品其ノ他協力ニ必要ナル注意事項ヲ記載スルコト
文字ハ楷書ヲ以テ明瞭ニ記載スルコト
七 協力令書ノ交付ヲ受ケタル者印章ヲ所持セザルトキハ花押又ハ母印ヲ爲サシムルモ妨ゲザルコト

國民勤勞報國協力令第十條第六號ノ工場
事業場指定

(昭和十六年十二月一日
厚生省告示第五百三十一號)

工場事業場管理令ニ依ル陸軍大臣又ハ海軍大臣ノ管理ニ係ル工場事業場

國民勤勞報國協力令第十一條第一號ノ

總動員業務指定

(昭和十六年十二月一日
厚生省告示第五百三十二號)

左ノ事業ニ於ケル總動員業務

一 農林業、但シ左ノ事業ヲ除ク

(一) メロン、ブラッドオレンジ、ジョツバーオレンジ及西洋梨ノ栽培

(二) 加熱設備ヲ有スル溫室內ノ果樹及蔬菜ノ栽培

(三) 豌豆、枝豆、芽薺、茗荷等ノ硝子室、障子室其ノ他保溫設備ヲ以テ收穫期迄行フ促成栽培

(四) 庭園樹、花卉及山葵ノ栽植、栽培

二 畜産業

三 水產業(但シ眞珠、珊瑚及觀賞用魚類ノ採捕又ヘ養殖ヲ除ク)

四 採鑛業

五 土石採取業(但シアルミニウム原礦、工業用特殊陶磁器用陶磁器原石、耐火煉瓦用原石及粘土ノ採取業ノミ)

六 金屬精鍊業及材料品製造業

七 鑄物業

八 前二號以外ノ金屬工業、但シ左ノ一ニ該當スルモノ

(一) 連鎖製造業(海運關係ノミ)

(二) 鋼索製造業

(三) ボルト、ナット、座金、鉛及釘類製造業

(四) 針金類製造業

(五) 五ガロン罐、ドラム罐及軍需用ブリキ罐製造業

(六) 蹄鐵及蹄釘製造業

(七) 火造(鍛冶)業

(八) 熔接業(軍需用ノミ)

九 原動機類製造業

一〇 電氣機械器具類製造業

一一 電線及電纜製造業

一二 電池製造業(軍需用、生擴附帶用ノミ)

一三 工作機械器具製造業

- 一四 採鑿選礦及精鍊機械器具製造業
- 一五 化學工業用機械器具類製造業（但シ民需用化學工業用機械器具製造業、窯業用及製紙用機械器具製造業ヲ除ク）
- 一六 鐵道車輛製造業但シ左ノ一二該當スルモノ
- (一) 蒸氣機關車及電氣機關車製造業
- (二) 機械部分品及附屬品製造業
- (三) 貨車及其ノ部分品竝ニ附屬品製造業
- (四) 產業開發用小型蒸氣機關車製造業
- 一七 自動車製造業（但シ大型自動車及其ノ部分品竝ニ附屬品製造業ノミ）
- 一八 船舶製造業（但シ總噸數五〇〇噸以上ノ鋼船及軍需用船舶製造業ノミ）
- 一九 航空機及航空機部分品製造業
- 一〇 運搬機械製造業
- 一一 ポンプ、水壓機、送風機及氣體壓縮機製造業
- 一二 農業用機械器具製造業
- 二三 計測器類製造業、但シ左ノ一二該當スルモノ
- (一) 電氣計器製造業
- (二) 計壓器類製造業
- (三) 其ノ他ノ計器製造業（但シ度量衡器、ガス及水量メートル、寒暖計、體溫計ノ製造業ヲ除ク）（軍需用ノミ）
- (四) 試驗及檢查機械器具製造業（軍需用、生擴用ノミ）
- 二四 學術及醫療機械器具製造業
- 二五 光學機械器具製造業（但シ寫真機類製造業ヲ除ク）（軍需用ノミ）
- 二六 照明用機械器具製造業（但シ電球及懷中電燈製造業ヲ除ク）（軍需用、鑛山用ノミ）
- 二七 銃砲彈丸兵器類製造業（軍需用ノミ）
- 二八 第九號乃至第二十七號以外ノ機械器具製造業、但シ左ノ一二該當スルモノ
- (一) 弔、コツク、ベルト車、車輪及車軸製造業（軍需用ノミ）
- (二) 軸受製造業
- (三) 轄車製造業（軍需用、生擴用ノミ）

二九 電氣及通信機械器具裝置業

三〇 製藥業（醫藥製造業ノミ）

三一 工業藥品製造業、但シ左ノ一二該當スルモノ

（一）ソーダ製造業（軍需用ノミ）

（二）硫酸製造業

（三）磷製造業（軍需用ノミ）

（四）壓縮ガス製造業（但シ鹽素、炭酸ガス、アンモニア、窒素、臭素ノ製造業ノミ）

（五）カーバイト製造業

（六）其ノ他ノ工業藥品製造業（但シ鹽酸、晒粉、アルコール、ヨード、ヨードカリ、硝安、人造水晶石、シアソナトリウム、シアソンカリ、合成ゴム及軍需用ノ重クロム酸ソーダ、重クロム酸カリ、過マンガン酸カリ、鹽素酸ソーダ、鹽素酸カリ、石炭酸、醋酸、ブチルアルコール、アセトン、ホルマリン、エーテル、グリセリン、グリコール、合成ベンゾール、合成トルオール、合成硝石、合成硝酸、メタノールノ製造業ノミ）

三一 製鹽業

三三 染料及中間物製造業（但シ天然染料及硫化染料製造業ヲ除ク）

三四 塗料及顏料製造業（但シ左ノ一二該當スルモノ）

（一）漆液製造業（軍需用ノミ）

（二）塗料製造業（船底塗料製造業ノミ）

（三）顏料製造業（但シカーボンブラック、アセチレンブラック及軍需用ノ硫酸バリウム、リトボン、チタン白、鉛白、群青、紺青、ベンガラノ製造業ノミ）

三五 發火物製造業（但シマツチ及煙火ノ製造業ヲ除ク）

三六 鑽物油製造業

三七 植物油脂類製造業（但シ植物油脂製造業及軍需用樟腦製造業ノミ）

三八 加工油製造業（軍需用ノミ）

三九 ゴム製品製造業（但シタイヤ及チューブ（自動車用ヲ除ク）、防毒具（軍需用、生擴附帶用）ゴムベルト及工業用品ノ製造業ノミ）

四〇 パルプ製造業

四一 セルロイド製造業（但シ軍需用ノベンジルセルローズ、ジアセチルセルローズ製造業ノ

(ミ)

四二 化學纖維製造業(但シス・フ製造業ノミ)

四三 肥料製造業(但シ魚粕、魚粉以外ノ動物質肥料製造業ヲ除ク)

四四 皮革及皮革製品製造業、但シ左ノ一二該當スルモノ

(一) 製革業(軍需用ノミ)

(二) 馬具及ベルト製造業(軍需用ノミ)

四五 第三〇號乃至第四四號以外ノ化學工業、但シ左ノ一二該當スルモノ

(一) リノリウム製造業(軍需用ノミ)

(二) 醫科用X線フィルム製造業

(三) タンニン製造業

(四) 殺蟲劑及防腐劑製造業(農業藥劑製造業ノミ)

(五) 研磨材料及研磨用品製造業

(六) 炭素製品製造業(軍需用、生擴用ノミ)

(七) コークス製造業

(八) 化學兵器製造業

四六 電氣業

四七 光學ガラス製造業(軍需用ノミ)

四八 セメント製造業

四九 煉瓦及耐火物製造業(軍需用ノミ)

五〇 石綿製品製造業(但シ軍需用、生擴附帶用工業品製造業ノミ)

五一 紡織工業、但シ左ノ一二該當スルモノ

(一) ス・フ糸紡績業

(二) 擦糸業(但シ軍需用ノ綿擦糸業及絹擦糸業ノミ)

(三) 純綿、混紡綿、麻、純毛ノ織物製造業(ガーゼ以外ヘ軍需用ノミ)

(四) ス・フ織物業(但シ綢帶、リント、三角巾、腹帶ノミ)

五一 製材業

五三 鑄物用木型製造業

五四 土木建築業(軍需用、軍備用ノミ)

五五 編、麻、毛及絹製綱繩及網製造業(軍需用、海運用、漁業用ノミ)

五六 雜工業、但シ左ノ一二該當スルモノ

(二) 義肢製造業

(三) 醫療材料品製造業

(三) 寶石類加工業(軍需用、生擴用ノミ)

五七 運輸業、但シ左ノ一二該當スルモノ

(一) 鐵道軌道業(但シ鋼索鐵道業ヲ除ク)

(二) 貨物自動車運送業

(三) 旅客自動車運輸事業

(四) 小運送業

(五) 港灣運送業

(六) 船舶運送業

(七) 航空運送業

五八 通信業(但シ郵便(郵便物遞送請負業ヲ含ム)、電信、電話及ラヂオ放送業ノミ)

國民勤勞報國協力令第十一條第一號ノ規定ニ依ル指定

(昭和十六年十二月一日
厚生省告示第五百三十三號)

- 一 官吏、待遇官吏又ヘ公吏
- 二 帝國議會、道府縣會、市町村會其ノ他之ニ準ズベキモノノ議員但シ其ノ會期中ニ限ル
- 三 身體ノ狀況ニ因リ勞務ニ堪ヘザル者、
- 四 國民勤勞報國隊ニ依ル協力ヲ爲スコトニ因リ老者、幼者、不具者又ヘ病者ノ保護ニ著シキ支障ヲ生ズル虞アル者
- 五 國民勤勞報國隊ニ依ル協力ヲ爲スコトニ因リ生計上著シキ支障ヲ生ズル虞アル者

國民勤労報國協力令施行ニ關スル件

(昭和十六年十二月六日厚生省發職第一七八號)

現下緊迫セル時局ニ對處シ生產力ノ增强其ノ他緊要ナル國策ノ宗遂ニ努ムルハ喚緊ノコトニ有之政府ニ於ハ之ガ爲他ノ施策ト共ニ勞務對策ニ付種々措置シ來リタル所時局ノ重大化ニ鑑ミ一層國民ノ勤労精神ノ昂揚ヲ圖リ國民皆勤體制ヲ整備シ從來行ハレ來リタル勤労奉仕ヲ綜合的ニ調整シ國策遂行上緊要ナル部面ニ於ケル努力拂底ノ緩和ニ資セシムル爲國家總動員法第五條ノ規定ヲ發動シ十一月二十二日勅令第九百九十五號ヲ以テ國民勤労報國協力令公布ノ上十二月一日ヨリ施行セラレ右ニ伴ヒ同日厚生文部省令第三號ヲ以テ國民勤労報國協力令施行規則公布即日施行セラレ候處尙本制度ノ運營ニ付テハ別紙國民勤労報國協力令實施要綱ニ依リ萬遺憾ナキヲ期セラル、様致度此段依命及通牒候

國民勤労報國協力令實施要綱

第一 編成準備ニ關スル事項

一 地方長官ハ國民職業指導所長ヲシテ市區町村毎ニ左ノ團體ニ付國民勤労報國隊ニ依ル協力可能人員ヲ調査セシムルト共ニ青壯年國民登錄ニ依リ市町村別ノ協力可能人員ヲ概定セシメ毎年一月末現在ヲ以テ

様式第一號ニ依リ二月十五日迄ニ報告セシムルコト

(一) 青少年團體

(二) 婦人團體

(三) 同業者組合(組合員及其ノ使用スル從業員ヲ含ム)但シ組合員ニシテ(四)ニ該當スルモノ及其ノ從業員ヲ除ク

(四) 常時三百人以上ノ從業員ヲ使用スル會社、商店、工場、事業場(但シ令第十條第六號ノ官衙、工場、事業場及令第十一條第一號ノ規定ニヨリ指定セラレタル事業ヲ行フ工場、事業場ヲ除ク)

(五) 其ノ他ノ團體

地方長官ハ右ノ報告ニ基キ管内ノ協力可能人員ヲ様式第二號ニ依リ取纏メ二月末日迄ニ厚生大臣ニ報告スルコト

二 地方長官ハ前號ノ團體ヲシテ率先シテ協力希望人員、時期、期間等ヲ其ノ所在地ヲ管轄スル國民職業指導所長ニ申出セシムル様指導慇懃スルト共ニ國民職業指導所長ノ報告ニ基キ之ヲ登録スルコト

三 地方長官ハ豫メ國民勤労報國隊ノ編成ヲ見ルコトアルベキ市區町村、又ハ團體ノ長ヲシテ左ノ點ニ留意セシメ國民勤労報國隊ノ指揮者(以下隊長ト稱ス)トナルベキ者ヲ銳銜セシメ置クコト

(二) 協力可能者五十人ニ付一人ノ見當ニテ選ブコト

(二) 人物、経歴、年齢等ヲ考慮シ指揮統率ヲ爲スニ適格ナル者ナルコト

地方長官ハ右ノ隊長タルベキ者ヲ市町村又ハ團體ノ長ヲシテ推薦セシメ隨時訓練ヲ行フコト

訓練ハ國民勤勞報國隊ノ指導精神、運營等ニ付必要ナル知識ヲ授クルト共ニ人物ノ鍊成ニ努ムルコト

第一 協力ノ申請(請求)及其ノ處理ニ關スル事項

一 地方長官ハ規則第一條ニ掲タル總動員業務ヲ行フ者ヲシテ簡易ニシテ熟練ヲ要セザル作業ニ付勞務ヲ必要トスルトキハ能フル限り國民勤勞報國隊ノ協力ニ依リ充足セシムルコトトシ協力ノ申請(請求)ヲ爲サシムル様指導勵獎スルコト

二 地方長官ハ國民勤勞報國隊ノ協力ヲ受ケントスル者ヲシテ左記事項ニ留意セシメ其ノ申請(請求)ニ當リテハ成ルベク事前ニ所要人員、作業條件等ニ付作業地ヲ管轄スル國民職業指導所長ノ指示ヲ受ケシムルコト

(二) 作業ハ規則第一條ニ掲タル總動員業務ニ關スル作業トシ比較的簡易ニシテ熟練ヲ要セザルモノトスルコト

(三) 協力期間ハ必要ノ最短期間タラシメ國民勤勞報國隊ニ依ル協力ヲ受クル期間ハ令第四條第二項ノ規定ニ依ル特別ノ必要アル場合ト雖モ成ルベク六十日ヲ超エザルコト

(二) 所要人員ハ最少限度ニ止ムルコト

(四) 一日ノ作業時間ハ法令ニ依リ制限アルモノハ其ノ範圍内トシ制限ナキモノト雖モ不當ニ長時間ニ亘ラザルコト

(五) 手當又ハ謝金ハ賃金統制令ノ適用アル業務ニ協力スル場合ニハ其ノ賃金規則又ハ協定賃金、公定賃金等ノ範圍内ニ於テ定メ且鑛山其ノ他特別ノモノヲ除ク外ハ成ルベク標準賃金以内トスルコト但シ應召軍人遺家族ニ協力スル場合ハ手當又ハ謝金其ノ他ノ經費ヲ減額シ若ハ支給セザルコトヲ得ルコト

(六) 規則第十四條第一項ノ手當又ハ謝金、宿泊料、食費ハ便宜之ヲ一括シ手當又ハ謝金ノ名儀ヲ以テ支給スルモ支障ナキコト

(七) 隊員ノ業務上ノ災害、疾病、死亡等ノ場合ニ於ケル扶助ハ工場法、勞働者災害扶助法、鑛夫勞役扶助規則ニ準據スルモノトシ扶助金額算定ノ標準ハ當該作業場ニ於テ同種作業ニ於ケル同種勞働ニ對シテ支拂ハル賃金額ヲ標準トシ、尙工場法等ノ適用ナキ業務ニ協力スル場合ニハ工場法等ニ準ジ當該地方ノ諸事情ヲ考慮シ適當ニ定ムルコト

(八) 作業指導者ハ工場鑛山ニ在リテハ技術指導ニ關シ相當責任アル地位ニ在ル者ヲ以テ之ニ充テ、農耕作業ノ場合ニハ農會技術員等ヲ以テ之ニ充ツルコト

(九) 農林水產業ノ場合ノ如ク同種作業ニ付一括申請スルヲ便トスルモノハ當該地區ノ農會、組合等ヲ代理者トシテ一括申請スルモ支障ナキコト

(一〇) 緊急ヲ要スル場合ノ申請(請求)ハ口頭又ハ電話ヲ以テ爲スモ差支ヘナキコト
三 規則第四條ニ依ル申請(請求)ハ緊急ノ必要アル場合ヲ除クノ外左ノ期別毎ニ當該期始ノ前々月一日迄
ニ爲サンムルコト

第一期 (自四月至六月)

第二期 (自七月至九月)

第三期 (自十月至十二月)

第四期 (自一月至三月)

四 國民職業指導所長申請(請求)書ヲ受理シタルトキハ本要綱第二ノ二ニ掲タル事項ニ留意シテ内容ヲ審
査シ意見ヲ附シ直ニ地方長官ニ進達スルコト

五 地方長官規則第四條第一項ノ規定ニ依ル申請(請求)ニ付國民職業指導所長ノ進達ヲ受ケタルトキハ管
内ニ於ケル國民勤勞報國隊ノ編成ノ能否等ニ付意見ヲ具シ直ニ厚生大臣(學校在學者ニ依ル協力ノ申請
(請求)ノ場合ハ文部大臣及厚生大臣ニ進達スルコト

六 地方長官規則第四條第二項ノ規定ニ依ル申請(請求)ヲ受ケタルトキハ申請(請求)人員ヲ様式第三號ニ
依リ取纏メ每期始ノ前々月末日迄ニ厚生大臣(學校在學者ニ依ル協力ノ申請(請求)ニ付テハ文部大臣
及厚生大臣ニ報告スルコト但シ緊急ヲ要スルモノニ付テハ其ノ都度之ヲ爲スコト

第三編成命令及隊員ノ選定ニ關スル事項

- 一 地方長官ハ國民勤勞報國隊ノ編成ヲ命ぜントスルトキハ左記事項ニ留意スルコト
 - (一) 能フル限リ事前に編成ヲ命ぜントスル者ニ對シ命令ノ内容ヲ示シ必要ナル準備ヲ爲サシムルコト
 - (二) 國民全般ヲシテ廣く協力セシムルコトトシ一部ノ地方又ハ國民ニ偏倚セシメザルコト
 - (三) 成ルベク青少年團體、婦人團體、組合、產業報國會等ノ既存ノ團體ヲ單位トシテ編成セシムルコ
ト(此ノ場合ニハ數團體ニ所屬スルモノアルベキヲ以テ各地方ノ實情ニ應ジ協力ノ重複セザル様留意
スルコト)但シ鑛山等ニ協力スル場合ノ如ク地域單位ヲ便トスルモノハ此ノ限リニ在ラザルコト
 - (四) 能フル限リ作業地ニ近接セル學校又ハ團體ヲシテ協力セシムル様編成スルコト
 - (五) 協力セシムベキ人員ハ本要綱第一ノ一ノ協力可能人員ヲ斟酌シ過當ニ亘ラザルコト
 - (六) 協力期間相當長期ニ亘ルモノニ付テハ協力セシムベキ者ノ交替ヲ認ムモ支障ナキコト此ノ場合
ニハ編成令書中「其ノ他參考トナルベキ事項」欄ニ其ノ旨記載スルコト
 - (七) 成ルベク男女ヲ分チテ協力セシムル様編成スルコト
 - (八) 隊ノ名稱ハ原則トシテ市町村其ノ他ノ團體ノ名稱ヲ冠頭ニ附スルコト
- 二 規則第七條ニ依ル國民勤勞報國隊ノ編成令書ハ國民勤勞報國隊ノ編成ヲ命ぜントスル者ノ所在地ヲ管
轄スル國民職業指導所長ヲ通ジテ交付スルト共ニ其ノ内容ヲ申請(請求)者ニ通知スルコト

三 地方長官ハ國民勤勞報國隊員ノ選定ニ當リテハ左記事項ニ留意セシムルコト

(一) 令第三條第十條第十一條及令第七條第二項ノ規定ニ注意スルコト

(二) 令第三條第二項及第十一條ノ規定ニ依リ志願セントスル者アルトキハ様式第四號ノ志願書ヲ徵スルコト

(三) 編成令書記載ノ銘衡ノ範圍及標準ニ基キ選定スルコト

(四) 年少者、無業者、希望者ヲ先ニシ有業者ハ本來ノ業務ニ重大ナル支障ノ生ズル虞ナキ者トスルコト

(五) 國民勤勞報國隊長ハ成ルベク訓練ヲ受ケタル者ニシテ指揮統率ノ實行力ヲ有スル者ヨリ選ブコト

(六) 規則第十二條第三項ノ規定ニ依ル通知ヲ取消シタルトキハ必要ニ應ジ其ノ補充ヲ爲スコト

四 地方長官ハ國民勤勞報國隊編成者ヲシテ國民勤勞報國隊員ノ選定ヲ終リタルトキハ様式第五號ニ依ル隊員名簿ヲ其ノ所在地ヲ管轄スル國民職業指導所長ヲ經由シ地方長官ニ提出セシムルコト

隊員名簿ハ三通作成セシメ置キ二通ハ國民職業指導所長ニ提出セシメ一通ハ國民勤勞報國隊長ニ交付セシムルコト

五 地方長官ハ天災事變其ノ他避クベカラザル事故ニ依リ協力セシムベキ人員、國民勤勞報國隊員ノ出頭スベキ日時、場所其ノ他ニ付變更ヲ必要トシ又ハ國民勤勞報國隊ノ編成困難トナリタルトキハ國民勤勞

シ主務大臣ノ命令ニ依リ編成ヲ命ジタルモノナルトキハ其ノ案件ノ重要ナルモノニ付主務大臣ノ指揮ヲ承ケルコト

六 地方長官ハ國民勤勞報國隊編成者ヲシテ編成ヲ終リタルトキハ編成令書記載事項其ノ他必要ナル事項ヲ國民勤勞報國隊長ニ指示セシムルコト

第四 國民勤勞報國隊ノ協力準備及活動ニ關スル事項

一 地方長官ハ國民勤勞報國隊長ヲシテ隊ノ組織、活動等ニ關シ左記事項ニ付必要ナル措置ヲ爲サシムルコト

(一) 左ニ依リ隊ヲ組織スルコト

(イ) 概ネ十名前後ヲ以テ班ヲ編成スルコト

(ロ) 概ネ五班ヲ以テ小隊ヲ編成シ必要ニ應ジ中隊等ヲ編成スルコト

(ハ) 國民勤勞報國隊員中ヨリ適當ナル者ヲ選定シ班長、小隊長、中隊長等ヲ置クコト

(ニ) 國民勤勞報國隊員中ノ適當ナル者ヲシテ庶務、宿泊、衛生等必要ナル事務ヲ分擔セシムルコト

(二) 國民勤勞報國隊ノ協力ヲ受クル者ト緊密ナル連絡ヲ保持シ豫メ出發、到着ノ日時等ニツキ打合セ

- (三) 成ルベク事前ニ隊員ト連絡ヲ取り身廻品ノ携行其ノ他必要ナル指示ヲナシ集合、出發ニ齟齬ナキ
ヲ期スルコト
- (四) 國民勤勞報國隊員指定ノ日時、場所ニ出頭シタルトキハ隊員名簿ニ依リ人員點検ヲ爲スト共ニ指
示注意ヲ與フルコト

(五) 國民勤勞報國隊ノ行動ハ規律的ニ行フコト

- 一 地方長官ハ國民勤勞報國隊ノ協力ヲ受クル者ヲシテ左記事項ニ付必要ナル措置ヲ講ゼシメ國民勤勞報
國隊ノ活動ニ遺憾ナキヲ期スルコト
- (二) 作業地ニ於テ協力ヲ開始シ又ハ終了シタルトキハ開始、終了ノ式ヲ嚴肅ニ行フコト
- (三) 特ニ作業上支障ナキ限り成ルベク一般從業員ト別個ノ個所ニ於テ作業セシムルコト
- (四) 作業指導者ヲシテ作業ノ概要、作業上ノ注意事項、用具ノ名稱、使用方法等ヲ教示セシメ就業豫
備知識ヲ施シ當初ハ訓練的作業ヲ課スル等ニ依リ作業ノ不習熟、理解不充分等ヨリ生ズル災害其ノ他
ノ防止ニ努ムコト
- (五) 國民勤勞報國隊員ノ作業上ノ配置ハ年齢、經驗、體力等ヲ考慮シ適材ヲ適所ニ配スルコト

右ノ各項ニ付キ國民職業指導所長及國民勤勞報國隊長ト常ニ連絡ヲ保持セシムルコト

三 女子ニ付テハ隊ノ組織、作業等ニ關シ女子ニ適應セシムル様考慮ヲ拂ハシムルコト

- 四 國民勤勞報國隊ノ協力ヲ終リタルトキハ原則トシテ出發地ニ戻リ國民勤勞報國隊長ノ指揮ニ依リ終
了式ヲ行ハシムルト共ニ國民勤勞報國隊長ヲシテ協力ヲ終リタル旨直ニ當該國民勤勞報國隊編成者ニ通
知セシムルコト
- 前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ國民勤勞報國隊編成者ヲシテ地方長官ニ報告セシムルコト

第五 國民勤勞報國隊ノ協力ニ要スル經費

- 一 規則第十四條第一項第五號ノ費用ハ概ネ左ノ經費トスルモ能フル限リ之ヲ負擔セシメザルコト
- (一) 協力令書作製費及其ノ發送費
- (二) 隊員選定ニ要スル事務費
- (三) 協力ヲ受クル者トノ連絡ニ要スル經費
- 二 經費ハ國民勤勞報國隊編成者又ハ國民勤勞報國隊長ニ經費明細書ト共ニ交付セシムルコト
旅費等事前ニ要スル經費ハ國民勤勞報國隊編成者又ハ國民勤勞報國隊長ニ前拂スルヲ得シムルコト
國民勤勞報國隊員ノ手當ハ國民勤勞報國隊編成者又ハ國民勤勞報國隊長ヨリ支給セシムルコト
- 三 國民勤勞報國隊編成者又ハ國民勤勞報國隊長ヲシテ經理薄ヲ作製セシメ金錢ノ經理ヲ明カナラシムル

第六 隊員ノ災害、疾病、死亡等ニ對スル措置

國民勤勞報國隊員ノ業務上ノ疾病若ハ災害ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ隊長ヲシテ直ニ其ノ狀況ヲ當該作業地ヲ管轄スル國民職業指導所長ヲ經由シ國民勤勞報國隊ノ作業地及編成地ヲ管轄スル地方長官ニ報告セシムルコト

第七 其ノ他

一 地方長官ハ管内ノ國民勤勞報國隊ノ活動狀況ヲ毎年四半期毎ニ三月、六月、九月及十二月末現在ヲ以テ様式第六號ニ依リ翌月未日迄ニ厚生大臣ニ報告スルコト

二 國民勤勞報國隊ノ編成地及作業地ヲ管轄スル地方長官又ハ國民職業指導所長ハ常ニ相互連絡ヲ保持シ國民勤勞報國隊ノ活動ニ遺憾ナキワ期スルコト

第八 學校(大學高等専門學校ヲ除ク)ニ關スル特例

一 地方長官ハ其ノ所管ニ屬スル學校長ヲシテ當該學校ノ國民勤勞報國隊ニ依ル協力ヲ爲サシムベキ學校在學者ノ員數ヲ様式第七號ニ依リ毎年四月初入學、准學アリタル直後其ノ現在ヲ以テ四月十五日迄ニ報告セシムルコト

四月以外ノ時期ニ於テ入學、准學又ハ卒業ノ定アル學校ニ付テハ樣式第七號ニ準ジ其ノ異動報告ヲ爲サ

シムルコト

前二項ノ報告ヲ爲シタルトキハ其ノ寫ヲ當該學校ノ所在地ヲ管轄スル國民職業指導所長ニ送付セシムルコト

地方長官ハ第一項及第二項ノ報告ニ基キ第一項ノ場合ヘ四月未日迄第二項ノ場合ハ其ノ都度管内ノ學校

在學者ニ付樣式第八號ニ依リ文部大臣及厚生大臣ニ報告スルコト

二 學校在學者ノ協力ニ關シテ當該地方ノ勞務需給ノ狀況ニ鑑ミ且食糧增產、國防事業等國策遂行上特ニ緊要ナル事業ニシテ學校在學者ノ教育訓練ニ適當ナル業務ニ付テノミ申請(請求)セシムル様指導スルコト

三 規則第四條第二項ニ依ル學校在學者ノ協力ノ申請(請求)ヲ受ケタル場合ニハ一般勞務需給ノ狀況、學校在學者ノ協力ノ能否、學校在學者ヲ協力セシムベキ必要性等ヲ調査シ左ノ事項ニ留意シ學校報國隊出動令書(青年學校等學校報國隊ナキ學校長ニ對スル場合ハ國民勤勞報國隊編成令書)ヲ交付スルコト

(一) 學校ノ行事、試驗其ノ他學校ノ實情ヲ調査シ最モ學校教育ニ支障少キ學校ヲ選定シ期間ヲ定期ルコト

(二) 能フル限リ事前ニ學校長ニ連絡シ命令ノ内容ヲ示シ必要ナル準備ヲ爲サシムルト共ニ學校ノ授業ニ支障少ナカラシムル様指導スルコト

- (三) 協力セシムル員數ハ成ルベク學級、學年又ハ學校報國隊組織等ヲ考慮シ同一學級、同一學年中一部ノ者ノミ授業ヲ受ケ得ザルガ如キコト無キ様留意スルコト
- (四) 學校ノ選定ニ當リテハ從事スペキ作業ト學校ノ程度、學校ノ種類、學科ノ内容等ヲ考慮スルコト、特ニ實業學校等ニ付テハ其ノ技能ノ活用ニ關シ考慮スルコト
- (五) 學校在學者ノ協力スペキ期間ハ作業ノ難易ニ應ジ概ね五日乃至七日等長期ニ亘ラザル期間ヲ定メ必要ニ應ジ交替セシムルコト
- (六) 學校在學者ノ本令ニ依ル實施ニ關シテハ本令ニ依ラザル各種ノ集團勤勞作業ノ實施狀況ヲモ考慮シ本令ニ依ル實施義務期間ノ割當ニ付キ特定ノ學校ニ偏倚セシメザル様留意スルコト
- (七) 隊長及隊員ノ選定ニ就テハ特ニ必要アル場合ハ隊員選定上留意スペキ事項ヲ示スノ外隊長ノ選定モ學校長ニ一任スルコト
- (八) 隊ノ名稱ハ何々學校報國隊トスルコト
- (九) 學校報國隊出動令書(國民勤勞報國隊編成令書)ハ地方長官ヨリ直接學校長ニ交付スルト共ニ當該學校ノ所在地ヲ管轄スル國民職業指導所長ニ其ノ寫ヲ送付スルコト
- 四 學校長ニ對シ學校報國隊出動令書(國民勤勞報國隊編成令書)ヲ交付シタルトキハ其ノ記載事項ニ指示スルトコロニ據ラシムルノ外特に左ノ事項ニ留意セシムルコト
- (一) 隊長及隊員タルベキ者ノ健康狀況ニ留意シ必要ニ應ジ身體檢查ヲ實施スルコト
- (二) 學校報國隊ノ編成アル學校ニ付テハ現在編成ノ隊組織ノ全部又ハ一部ヲシテ出動セシムルヲ原則トスルモ必要ニ應ジ國民勤勞報國隊ニ依ル協力ニ關シ學校報國隊ノ臨時編成ヲ爲スモ差支ヘナキコト
- (三) 隊長ノ選定ニ付テハ學校報國隊ノ編成アル學校ニ於テハ其ノ隊長ヲ以テ之ニ充ツルヲ原則トスルモ其ノ指揮監督ノ能否等ヲ考慮シテ適宜選定スルコト
- (四) 本令ニ依リ協力セシムル隊員ノ選定ニ關シテハ本令ニ依ラザル各種ノ集團勤勞作業ノ實施狀況ヲモ考慮シ特定ノ在學者ニ偏倚セシメザルコト
- (五) 學校長ハ出動協力スル隊員ノ名簿ヲ作成シ隊長ヲシテ之ヲ保管攜行セシムルト共ニ其ノ員數ヲ地方長官及國民職業指導所長ニ報告セシメ置クコト
- (六) 隊員ノ出動協力スル場合ニハ成ルベク胸草ノ標識ヲ附シ學校報國隊ノ編成アル學校ニ付テハ學校報國隊員タルコトヲ明瞭ナラシムル様考慮スルコト
- (七) 學校長ハ常ニ出動セル隊員ノ指揮監督ニ遺憾ナカラシムルコト
- (八) 學校長ハ協力ヲ爲スペキ者ニ規則第十條ノ國民勤勞報國協力令書ハ交付スルコトヲ要セザルコト
- 五 學校在學者ノ協力ニ要スル經費ハ成ルベク實費程度ヲ負擔セシムルヲ原則トシ必要ニ應ジ謝金トシテ負擔セシムル様指導スルコト但シ應召軍人遺家族ニ對スル協力ノ場合ハ協力ヲ受クル者ニ成ルベク經費

負擔ヲ爲サシメザルコト

六 學校在學者ノ協力ニヨリ謝金ヲ受ケタルトキハ成ルベク學校報國團ノ活動ニ充ツル等之ガ有效ナル活用方途ヲ講ゼシムル様指導スルコト

七 學校長タル國民勤勞報國隊編成者ノ監督ハ地方長官直接ニ當リ特ニ教育擔當官更フシテ教育訓練上遺憾ナカラシムル様指導セシムルト共ニ學校在學者タル隊員ノ監督ハ學校長ヲ通ジテ之ヲ行ハシムルコト

八 學校長ト國民職業指導所長トニ連繫ヲ特ニ密接ナラシムル様指導スルコト

九 學校在學者ヲ協力セシムル場合ニ於テハ修業年限、在學年限ノ短縮ノ臨時措置ニ依ル影響ヲ十分考慮スルコト

一〇 地方長官ハ本令ニ依ル協力ヲ爲シタル學校長ヨリ其ノ實施狀況ヲ様式第九號ニ依リ報告セシメ、之ヲ取纏メタル上様式第十號ニ依リ毎年四半期毎ニ三月、六月、九月及十二月末現在ヲ以テ翌月末日迄ニ文部大臣及厚生大臣ニ報告スルコト

一一 本特別以外ノ事項ニ關シテハ前記一般ノ例ニ準ジテ適宜取扱フコト

第九 大學高等專門學校在學者ノ協力ニ關シ措置スペキ事項

一 地方長官ハ當該地方ノ務務需給狀況ニ鑑ミ、大學高等專門學校ノ在學者ニ依ル協力ヲ必要ト認ムル場

合ニ於テハ食糧增產、國防事業等國策遂行上特ニ緊要ナル事業ニシテ大學高等專門學校ノ教育訓練ニ適當ナル業務ニ付テノミ其ノ協力ノ申請(請求)ヲ爲サシムル様指導スルコト

二 大學高等專門學校ノ在學者ノ協力ヲ受ケントスル申請(請求)ニ關シテハ地方長官ハ大學高等專門學校ノ在學者ヲ協力セシムル必要ノ有無及必要ト認ムル員數其ノ他參考トナルベキ事項ニ付意見ヲ具シ文部大臣及厚生大臣ニ進達スルコト

三 前二項ノ場合學校報國隊地方部アル地域ニ於テハ地方部長其ノ他域ニ於テハ最寄學校長ト十分連絡ヲ保ツコトニ緊急ノ場合等ニハ申請(請求)書ノ寫ヲ送付セシムル等ノ措置ヲ講ズルコト

様式第一號

國民勤勞報國協力令ニ依ル協力可能人員調（昭和年一月末現在）

國民職業指導所名

二九八

團體ノ町村名及稱	市區町長氏名及	協力可能人員
團體ノ町長氏名及	男	女
團體ノ町長氏名及	男	女
何々市區町村		
何々青少年團		
何々婦人團體		
何々同業者組合		
何々事業場		
何々社		
其ノ他		
計		

備考

- 一、市區町村ノ地域別協力可能人員ハ青壯年國民登録ニ依リ概定シタル市區町村別協力可能人員ハ市部、郡部別ニ取纏メ記入スルコト
- 二、團體別協力可能人員ハ所屬團體員ニ付調査シ市區町村別ニ記入スルコト
- 三、會社、工場、事業場等ニ付テハ業務上協力セシムルニ最モ支障少キ時期期間其ノ他協力セシムルニ参考トナルベキ事項ヲ備考欄ニ附記スルコト

様式第二號

國民勤勞報國協力令ニ依ル協力可能人員調（昭和年二月）

道府縣名

團別協力可能人員	男	女	計	備	考
市 郡 郡 郡 郡 郡 計					
青 壯 年 青 壯 年 青 壯 年 計					
婦 人 同 業 者 組 合 团 體 部 部 計					
工 庺 事 業 場 事 業 場 他 計					
社、商 事 業 場 事 業 場 他 計					
其 他 計					

備考

- 一、青壯年國民登録ニ依リ概定シタル市區町村別協力可能人員ハ市部、郡部別ニ取纏メ記入スルコト
市部欄ハ市、郡部欄ハ町村）
- 二、各團體ノ協力可能人員ハ本表ニ列記セル團體別ニ取纏メ記入スルコト

二九九

様式第三號

三〇〇

國民勤労報國隊ニ依ル協力申請(請求)人員調
(昭和 期分)

道府縣名

申請(請求)人員及能力別									
十日未滿		十日以上三十日以下		三十日以上四十五日以下		四十五日以上六十日以下		六十日以上	
三十日未滿		三十日未滿四十日未滿		四十日未滿五十日未滿		五十日未滿六十日未滿		六十日未滿以上	
計									

軍需產業									
右内ノ石炭山		生産力擴充計畫		產業及其ノ附帶		軍需產業		軍需產業	
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
///				///	///	///	///	///	///

合計			其ノ他		農林水產業		國防土木建築業		運輸通信業	
計	女	男	計	女	男	計	女	男	計	女
///	///	///	///	///	///	///	///	///	///	///

備考

三〇二

- 一、本表ハ規則第四條第二項ノ規定ニ依ル申請(請求)ニ付作成スルコト
- 二、生産力擴充計畫中石炭山、金屬山ハ内書スルコト
- 三、逓信、鐵道關係ノ官業ハ運輸通信業トルコト
- 四、申請(請求)人員ハ一般ト學生生徒ニ分子學生生徒ヲ數ハ朱書スルコト

様式第四號

志願書	
志願者氏名	生年月日
籍	
現住所	
職業	
私儀何々國民勤勞報國隊ニ依ル協力ニ志願候	
昭和年月日	
殿	
志願者氏名	
何々國民勤勞報國隊編成者	

様式第五號

國民勤勞報國隊員名簿

國民勤勞報國隊編成者職氏名(印)

氏名	住所	年齢	職業	備考
----	----	----	----	----

備考

備考欄ニハ隊長タル者ニ付テハ其ノ旨附記スルト共ニ各隊員ノ特殊技能ノ有無健康狀態等作業上隊員ノ配置ニ参考トナルベキ事項ヲ記入スルコト

三〇三

様式第六號

國民勤勞報國隊活動狀況調
(昭和期分)

道府縣名

三〇四

		協力先産業		軍需産業		生産力擴充計		通信業		國防土木建築		農水産業		其ノ他		合計					
		協力人員		實人員		延人員															
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
學 校	中 等 學 校	學 校	中 等 學 校	學 校	中 等 學 校	學 校	中 等 學 校	學 校	中 等 學 校	學 校	中 等 學 校	學 校	中 等 學 校	學 校	中 等 學 校	學 校	中 等 學 校	學 校	中 等 學 校		
大	高 等 專 門	大	高 等 專 門	大	高 等 專 門	大	高 等 專 門	大	高 等 專 門	大	高 等 專 門	大	高 等 專 門	大	高 等 專 門	大	高 等 專 門	大	高 等 專 門		
青 少 年 團 體	青 少 年 團 體	青 少 年 團 體	青 少 年 團 體	青 少 年 團 體	青 少 年 團 體	青 少 年 團 體	青 少 年 團 體	青 少 年 團 體	青 少 年 團 體	青 少 年 團 體	青 少 年 團 體	青 少 年 團 體	青 少 年 團 體	青 少 年 團 體	青 少 年 團 體	青 少 年 團 體	青 少 年 團 體	青 少 年 團 體	青 少 年 團 體		
婦 人 團 體	婦 人 團 體	婦 人 團 體	婦 人 團 體	婦 人 團 體	婦 人 團 體	婦 人 團 體	婦 人 團 體	婦 人 團 體	婦 人 團 體	婦 人 團 體	婦 人 團 體	婦 人 團 體	婦 人 團 體	婦 人 團 體	婦 人 團 體	婦 人 團 體	婦 人 團 體	婦 人 團 體	婦 人 團 體		
同 業 者 組 合	同 業 者 組 合	同 業 者 組 合	同 業 者 組 合	同 業 者 組 合	同 業 者 組 合	同 業 者 組 合	同 業 者 組 合	同 業 者 組 合	同 業 者 組 合	同 業 者 組 合	同 業 者 組 合	同 業 者 組 合	同 業 者 組 合	同 業 者 組 合	同 業 者 組 合	同 業 者 組 合	同 業 者 組 合	同 業 者 組 合	同 業 者 組 合		
其 他	其 他	其 他	其 他	其 他	其 他	其 他	其 他	其 他	其 他	其 他	其 他	其 他	其 他	其 他	其 他	其 他	其 他	其 他	其 他	其 他	
計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	
工 場	工 場	工 場	工 場	工 場	工 場	工 場	工 場	工 場	工 場	工 場	工 場	工 場	工 場	工 場	工 場	工 場	工 場	工 場	工 場	工 場	
會 社	會 社	會 社	會 社	會 社	會 社	會 社	會 社	會 社	會 社	會 社	會 社	會 社	會 社	會 社	會 社	會 社	會 社	會 社	會 社	會 社	會 社
事 業 場	事 業 場	事 業 場	事 業 場	事 業 場	事 業 場	事 業 場	事 業 場	事 業 場	事 業 場	事 業 場	事 業 場	事 業 場	事 業 場	事 業 場	事 業 場	事 業 場	事 業 場	事 業 場	事 業 場	事 業 場	
其 他	其 他	其 他	其 他	其 他	其 他	其 他	其 他	其 他	其 他	其 他	其 他	其 他	其 他	其 他	其 他	其 他	其 他	其 他	其 他	其 他	其 他

備考

一、延人員ハ實人員ニ協力日數ヲ乗ジタルモノヲ記入スルコト

- 二、生産力擴充計畫中石炭、金屬山ハ本表ニ準ジ内書スルコト
- 三、災害、疾病、死亡ノ状況、作業ノ内容其ノ他経費、扶助等ニ關シ實施上参考トナルベキ事項ヲ附記スルコト

様式第七號

國民勤勞報國協力令ニ協力スペキ學校在學者數調

學校名

學校ノ據レル學校令

設立者

學科別	學年別	學級別	男員	女員	數	備考
計						

備考
一、學科別ハ本科、第二本科、別科、專修科等ノ區分ニ依ルコト
二、備考欄ニハ入學時期、修業年限、其ノ他ニ付特殊事情アル場合ニ付参考トナルベキ事項ヲ記入スルコト
三、備考欄ニハ入學時期、修業年限、其ノ他ニ付特殊事情アル場合ニ付参考トナルベキ事項ヲ記入スルコト

様式第八號

國民勤勞報國協力令ニ依リ協力スペキ學校在學者調

道府縣名

三〇六

學校種類別	學校名	員數
中學校		
小計		
工業學校		
小計		
總計		

備考

學校種類別欄ニハ中學校、高等女學校、工業學校、農業學校、商業學校、中等學校ニ類スル各種學校専門學校ニ類スル各學校、青年學校等ノ別ニ小計ヲ附スルコト但シ青年學校ハ學校ノ區別ヲセズ一括シテ小計ヲ記載スルコト

様式第九號

國民勤勞報國協力令ニ依ル協力實施狀況報告

學校名

(自年月日至年月日)

總計	協力シタル事業場名	協力實人員數	協力延人員數
第二表	未ダ協力セヅル者ノ員數	十一日以内協力シタル者ノ員數	
十日以内協力シタル者ノ員數	二十一日以上協力シタル者ノ員數		

三〇七

國民勤勞報國協力令ニ依ル協力實施狀況報告

道府縣名

第一表
(自 年 月 日 至 年 月 日)

協力シタル事業ノ種類別	協 力 實 人 員 數	協 力 延 人 員 數
未ダ協力セザル者ノ員數	十日以内協力シタル者ノ員數	十一日以上協力シタル者ノ員數
總 計		

第二表

備考
第一表第二表トモ中學校、高等女學校、工業學校、商業學校、農業學校、青年學校、中等學校ニ類スル各種學校、專門學校ニ類スル各種學校毎ニ作成スルコト

國民勤勞報國協力令施行ニ關スル件

(昭和十六年十二月九日文部省發體第二〇二號ヲ以テ文部厚生兩次官ヨリ學校報國隊地方部長(東京ヲ除ク)、直轄學校(盲聾啞ヲ除ク)公私立大學高等專門學校長宛依命通牒)

現下緊迫セル時局ニ對處シ生産力ノ增强其ノ他緊要ナル國策ノ完遂ニ努ムルハ喫緊ノ要務ニ有之政府ニ於ハ之ガ爲他ノ施策ト共ニ勞務對策ニ付種々措置シ來リタル處時局ノ重大化ニ鑑ミ一層國民ノ勤勞精神ノ昂揚ヲ圖リ國民皆勤體制ヲ整備シ從來行ハレ來リタル勤勞奉仕ヲ綜合的ニ調整シ國策遂行上緊要ナル部面ニ於ケル勞力拂底ノ緩和ニ資セシムル爲國家總動員法第五條ノ規定ヲ發動シ十一月二十二日勅令第九百九十五號ヲ、以テ國民勤勞報國協力令公布ノ十二月一日ヨリ施行セラレ右ニ伴ヒ同日厚生省令第三號ヲ以テ國民勤勞報國協力令施行規則公布即日施行セラレ候處尙本制度ノ運營ニ付テハ別紙國民勤勞報國協力令實施要綱ニ依リ萬遺憾無キワ期セラル、様致度此段依命及通牒候
追而別添昭和十六年十二月六日付ノ各地方長官宛厚生文部兩次官通牒國民勤勞報國協力令施行ニ關スル件寫御參照相成度

國民勤勞報國協力令實施要綱
(大學高等專門學校長ニ封スル分)

一 學校長ハ國民勤勞報國隊ニ依リ協力スペキ當該學校ノ在學者ノ員數ヲ様式第一號ニ伏リ毎年四月初入

學、進学者アリタル直後現在ヲ以テ四月末日迄ニ文部大臣及厚生大臣(各一通宛)ニ報告スルコト

四月以外ノ時期ニ於テ入學、進學又ハ卒業ノ定メアル學校ニ付テハ前項ニ準ジ其ノ都度異動報告ヲ爲スコト

ト

前二項ノ報告ヲ爲シタルトキハ其ノ寫ヲ當該學校ノ所在地ヲ管轄スル地方長官ニ送付スルコト

二 學校長ハ學校報國隊出動令書ヲ受ケ隊長及隊員ヲ選定出動セシムルニ當リテハ當該令書記載ノ指示ニヨルノ外左記事項ニ留意スルコト

(一) 隊長及隊員タルベキ者ノ健康狀況ヲ考慮シ必要ニ應ジ身體檢查ヲ實施スルコト

(二) 現ニ編成セラレアル學校報國隊ノ全部又ハ一部ヲシテ出動セシムルヲ原則トスルモ必要ニ應ジ勤勞報國隊ニ依ル協力ニ關シテ學校報國隊ノ臨時編成ヲ爲スモ差支ナキコト

隊ノ名稱ハ何々學校報國隊トスルコト

(三) 隊長ノ選定ニ付テハ學校報國隊ノ各級ノ隊長ヲ以テ之ニ充ツルヲ原則トスルモ其ノ指揮監督ノ能否ヲ考慮シテ適宜選定スルコト

(四) 本令ニ依リ協力セシムル隊員ノ選定出動ニ付テハ本令ニ依ラザル各種ノ集團勤勞作業ノ實施狀況ヲ考慮シ特定ノ在學者ニ偏倚セシメザル様留意スルコト

(五) 隊員ノ選定ニ付テハ修業年限、在學年限ノ短縮ニ關スル臨時措置ニ依ル影響ヲ考慮スルコト

(六) 學校長ハ出動協力スル隊員ノ名簿ヲ作成シ隊長ヲシテ之ヲ保管携行セシメルコト

(七) 隊員ノ出動協力スル場合ニ在リテハ成ルベク腕章ノ標識ヲ附シ學校報國隊員タルコトヲ明瞭ナラシムル様考慮スルコト

(八) 隊員ノ協力ニ依リ謝金ヲ受ケタルトキハ成ル可ク學校報國隊ノ活動ニ充ツル等之ガ有效ナル活用方途ヲ講ズルコト

(九) 學校長ハ常ニ出動セル隊長、隊員ノ監督ニ遺憾ナカラシムルコト

(一〇) 學校長ハ協力ヲ爲スベキ者ニ規則第十條ノ國民勤勞報國協力令書ハ交付スルコトヲ要セザルコト

三 學校長ハ道府縣、國民職業指導所等勞務行政機關トノ連絡ヲ密ナラシメルコト

四 學校長ハ本令ニ依ル協力ヲナシタル場合ハ其ノ実施狀況ヲ様式第二號ニ依リ毎年四半期毎ニ三月、六月九月、十二月末現在ヲ以テ文部大臣及厚生大臣ニ報告スルコト

五 前項ノ外別紙添附地方長官宛通牒ヲ參照スルコト

様式第一號

三一二

國民勤労報國協力令ニ依リ協力スペキ學校在學者數調

學校名

學校ノ據レル學校令

設立者

學科別	學年別	學級別	員數		備考
			男	女	
計					

備考

- 一、學科別ハ本科、第二本科、別科、專修科等ノ區分ニ依ルコト
二、備考欄ニハ入學時期、修業年限其ノ他ニ付特殊事情アル場合ニ付参考トナルベキ事項ヲ記入スルコト

様式第二號

調國民勤労報國協力令ニ依ル協力實施狀況報告

學校名

(自 年 月 日 至 年 月 日)

第一表

協力シタル事業場名	協力實人員	協力延人員
總計		

第二表

未ダ協力セザル者ノ員數	十日以內協力シタル者ノ員數	十一日以上二十日以內協力シタル者ノ員數
二十一日以上協力シタル者ノ員數		